

# 令和7年度 学校経営の基本的な考え方

保護者や地域の願い

- ・安全な環境
- ・安心できる学校  
(いじめのない)
- ・楽しく伸びる学校
- ・友達と仲良く楽しく過ごせる学校
- ・相談しやすい環境

中頭指導行政の重点目標

最多・最大の最高を追求する中頭教育の創造

北谷町教育 目指す子供像

確かな学力を身に付け、豊かな心をもち、自ら学ぶ意欲に満ちた心身ともに健康な幼児児童生徒

学校課題

- ・生活リズムの定着
- ・校内研修の改革  
日常の授業への反映
- ・キャリア教育の充実
- ・教育環境の整備
- ・校種間連携の充実
- ・組織力強化
- ・働き方改革の推進

学校教育目標

自信と誇りを持ち 夢や希望に向かって 自立・自律できる子供の育成

★進んで学ぶ子 ★ 認め合う子 ★ たくましい子

☆☆☆ 子供に育てたいもの ☆☆☆

☆課題解決に向けて道筋をイメージし 判断・表現できる「力」  
☆人とつながり 自他を大切にする「心」  
☆ねばり強く取り組み続け やり遂げようとする「強さ」

~~だからこんな学校に~~

安心できる学校

～ウィルビーイング～

1. 安全確保・徹底指導
  - ・登下校 徒歩登校奨励
  - ・活動内容や場所
  - ・施設・備品の整備
2. 支持的風土の醸成
  - ・居場所がある  
(所属感やつながり感)
  - ・いじめ見逃しゼロ
  - ・教師との関わり  
観てくれる・頼りになる  
勇気付ける・価値付ける
  - ・家庭との連携
3. 組織的な関わりや支援
4. 自己有用感(役割)の自覚
5. 働き方改革の実現  
→ 覇気のある学校・職員

伸びる学校

～自己肯定感の高揚～

1. I-ZEITZUを生かした授業づくり
  - ・育てたい資質能力を全教育活動で意識化
  - ・スマイルプログラム、クラス会議を活かした学級経営
  - ・認め合い学び合うの場の工夫
2. キャリア教育の視点に立った教育活動の推進・充実・協働
  - ・北谷ニライっ子実践項目
  - ・子供自らが学びや成長を実感できる取組(工夫)
  - ・キャリア体験活動(職場見学)
3. 児童理解及び支援の充実
4. 特別支援教育の充実
5. 学び合う教職員(相互育成)
6. 「授業改善」と「自立した学習者の育成」

開かれた学校

～方向性の見える化～

1. 情報連携・行動連携  
学校の取組、実践、対応について、そのねらいや効果性を全職員が理解し、十分に説明できる。
2. コミュニティ・スクールの推進
  - ・学校運営協議会の充実
  - ・放課後活動支援
  - ・部活動指導支援
  - ・登下校安全見守り
  - ・いじめ防止委員会
3. 校種間連携の充実
  - ・つながり(一貫性)をもった指導・活動

令和7年度の重点取組

- 日常的な指導の中でエージェンシーを育む→「自分で目標を設定し、振り返り、責任をもって行動する能力」
- 授業改善4つの取り組み①「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実、②学習基盤としてのICTの活用、③指導と評価の一体化、④「自学自習力」を育む取り組みの充実
- 校内外の研修→教職員の資質能力の向上→授業改善→児童の主体的な学び、自学の定着
- SDGsの観点を日々の教育活動に生かす→総合的な学習 学校行事等 日常の授業がベース
- スマイルプログラム・クラス会議を通して  
→学校が楽しい・主体的に学校や学級を創る→登校したい 友だちや先生とつながる実感  
先輩としての自分の姿や学校に誇りを持つ上級生に育て上げる
- 学校・家庭・地域・行政の取組の一貫性・一体化→コミュニティ・スクールとしての啓発
- 教職員の思いを揃える→組織力の向上 同僚性の強化 業務の効率化 服務遵守
- 学校経営(方向性)の見える化、シンプル化 教職員全員の参画意識の確立  
→→→ 学年・学級経営と育成評価記録、学校評価の視点を一体化

児童・職員・保護者・地域みんなで創る「魅力と覇気」のある浜川小学校